

text:Hidenori TAKAKUWA(高桑秀典)  
photo:Satoshi KAMIMURA(神村 聖)



クラスごとのカリキュラムが始まる前にメルセデス・ベンツCクラス体験試乗会が行われた。インストラクターらが各車に同乗する。



今回も受付開始前にTEZZO BASEメカニックの川崎さんおよび金野さんによる走行前点検講座が実施され、数多くの参加者が聞き入った。

## 新型Cクラスを教習車にドライビングレッスン

去る8月31日に、袖ヶ浦フォレストレースウェイを会場として、太田校長によるスポーツドライビングスクールが開催された。

当スクールでは、クルマの運転が上手くなれば安全につながるという基本理念のもと、座学と実践で安全運転を、楽しく学ぶことができる。

今回はメルセデス・ベンツ日本の協力により、新型Cクラスが教習車として提供され、実際に参加者たちが体験試乗会にて話題のニューモデルを運転することもできた。

クラス分けは、セーフティ・ベーシックレッスンクラス、セーフティ・アドバンスレッスンクラス、スポーツ走行会(スパタイGP参加)という3つで、サーキット入門者を対象としたセーフティ・ベーシックレッスンクラスは、先導車付きでのサーキット走行を楽しんだ。

また、サーキットタクシー&体験試乗プランという

枠が今回初めて設けられ、今後太田校長によるスポーツドライビングスクールに参加しようと思っている方や、新型Cクラスの走行フィールを試してみたいと思った11名のドライバーが参加した。9月23日にもスクールが開催されたので、その模様は次号にてお届けしたい。



メルセデス・ベンツ日本の嶋田智美さんは開会式で、新型Cクラスの車両説明を行った。「高剛性軽量ボディが卓越したアジリティを生み出し、クラスを超えたインテリアがドライバーの快適性向上につながり、それが安全に直結する」といったことなどが語られた。



太田校長は「クルマの運転が上手くなれば安全につながる」をテーマに「常に意識を集中し走行記憶を残しながら走るようにする。またクルマを壊さないようにする。今日学んだことを公道での事故を起こさない運転につなげてほしい」といったことなどをレクチャー。



メルセデスの嶋田さん、太田校長、齊藤講師、まるもインストラクターというメンバーで行われたトークショーの話題は「新型Cクラスの優位性」について、嶋田さんは「デザインを突きつめたら結果的に空力がよくなった」というエピソードを披露。



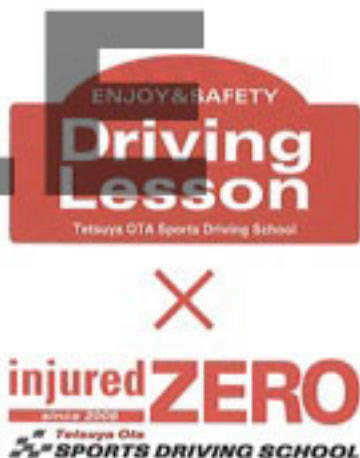
アドバンスタイムが設けられ、講師陣にサーキット走行に関する疑問を投げかけることができた。講師陣からは「2コーナーおよび5、6、7コーナーはクルマの馬力によってベストラインが変わってくる」といったアドバイスがあった。



すべての走行が終了し、スパタイGPの表彰式と修了式(講師陣の総評)が行われた。東北から参加したドライバーが現在の被災地の様子を報告した後、スクールの締めくくりとして、東日本大震災支援ソング「RESTART」を大合唱し、最後に全員で記念写真。



交通安全というキーワードでつながった「早めにつけよう おもいやりドライブ運動事務局」とTetsuya OTA ENJOY&SAFETY DRIVING LESSONがコラボし、パワック内にブースを設けた。交通安全啓蒙活動も積極的にやっている。



### EVENT DATA

ジャンル: スポーツドライビングスクール  
エントリー車両: 公道走行可能な車両  
開催日: 2014年8月31日  
開催地: 千葉県 袖ヶ浦フォレストレースウェイ  
問い合わせ: Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局  
URL: <http://sportsdriving.jp>  
E-mail: [info@sportsdriving.jp](mailto:info@sportsdriving.jp)

### Report Memo

都心から約1時間というアクセスのよさを特徴としている袖ヶ浦フォレストレースウェイにて行なわれたスポーツドライビングスクール。国際自動車連盟の規格に合ったコース(本格的なレースも行なえる)を会場として、座学と実践で安全運転を楽しく学ぶことができる。



サーキットタクシー（講師陣運転による同乗走行）やCクラス体験試乗会にて、最新モデルならではの走行性能の高さを余すところなく実感することができた。

## 新型Cクラスの優位性を多様なシーンで味わえた



参加者たちによる本コース上でのプログラムにおいてもメルセデス・ベンツの姿を確認できた。ちなみに、参加者が自車でコースインする走行プログラムは先導車付き慣熟走行からスタート。その後、スポーツ走行会（スパイダGP参加）およびセーフティ・アドバンスレッスンクラスに参加したエントラントはフリー走行を2本実施。

一般参加者および同伴者向けのアクティビティとして、袖ヶ浦フォレストレースウェイをメルセデス・ベンツGLクラスおよびMクラスに乗って走ることができるサーキットサファリランも行われた。また、今回は特別に写真にあるS63 AMG 4MATIC longも展示され、超高級サロンの室内に自由に座ることができた。



走行終了後に、Tetsuya OTAスポーツドライビングスクール事務局の大学生スタッフを中心としたメンバーNext Car Generationがメルセデス・ベンツ日本・製品広報課マネージャーの嶋田さんをお迎えしてのインタビューを実施。嶋田さんは「ユーザーの裾野を広げたいというメルセデス・ベンツのラインナップ戦略と、いかに多くの方にメルセデス・ベンツのことを知ってもらうか、という日本でのマーケティング戦略がシンクロしている」といった興味深い話をしてくれた。



午後からスタートしたサーキットタクシーでは、参加者たちを乗せたCクラスにて、太田校長と資藤講師がコース上にて全周走行。サーキットタクシーはフリー走行を混走する形式でも行われ、各クラスの参加者たちはプロの走りに感心しながら、自らの走行枠でドライビングスキルを高めた。

パネサス仕様のC180だけでなく、エアサス仕様のC200も試乗した勝倉さん（ゼッケン13番）は、今回初めて設けられたサーキットタクシー体験試乗プランの参加者。「躍高感が音無でハナ先が軽い。コーナリングがスムーズで乗りやすい。このCクラスであればFR特有の挙動を安全に楽しめる」と話してくれた。そして、勝倉さん同様、サーキットタクシー体験試乗プランにてCクラスを堪能した日下さんは「すべてがスムーズで、軽々加速する。ブレーキの効きもイイ。ステアリングはもっとクイックでもいいけど、ロールスピードはちょうどいい」との感想を語ったようだ。

